

平成29年（2017年）3月期 第2四半期決算説明会

（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

 澁澤倉庫株式会社

平成28年11月17日

目次

	ページ
I. 平成29年3月期第2四半期の概要	
I-1. 連結経営成績	3
I-2. 事業セグメント別営業収益	5
I-3. 事業セグメント別営業利益	7
I-4. 個別経営成績	8
I-5. 連結財政状態	9
I-6. 連結貸借対照表	10
I-7. 連結キャッシュフローの状況	12
II. 平成29年3月期の業績予想	
II-1. 平成29年3月期の業績予想	13
II-2. 事業セグメント別営業収益予想	14
II-3. 事業セグメント別営業利益予想	15
III. 中期経営計画	
III-1. Step Up 2016のレビュー	16
III-2. 次期中期経営計画の考え方	20
IV. 平成29年3月期第2四半期のトピックス	21
V. 当期の設備投資の状況	22
VI. 配当の状況	23

I - 1. 連結経営成績

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	
			金額	比率
営業収益	28,923	29,186	262	0.9%
営業利益	1,388	1,816	427	30.8%
営業外損益	▲26	▲6	20	—
経常利益	1,362	1,809	447	32.9%
特別損益	—	—	—	—
法人税等	491	581	89	—
非支配株主に帰属する 四半期純利益	18	17	▲0	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	852	1,210	358	42.0%

㊦ 澁澤倉庫株式会社

3

I - 1. 連結経営成績(決算のポイント)

(単位：百万円)

前年同期比	営業収益	増減割合	営業利益	増減割合
物流事業	+343	+1.3%	+409	+48.5%
不動産事業	▲79	▲2.7%	+33	+2.5%
全体	+262	+0.9%	+427	+30.8%

➤ 物流事業の増収要因

- ①前年の物流施設賃貸に係る追加工事一括収受分が解消 (▲6.9億円)
- ②厚木・船橋における保管面積の拡大に伴う飲料の取扱増加
- ③大型拠点における日用品の取扱増加 (②・③他で+10.3億円)

➤ 物流事業の増益要因

- ①実保管や新規物流施設賃貸の増加 ②新設拠点の稼働率、採算性向上
- ③昨年新設した茨木倉庫の不動産取得税等一時費用が解消

➤ 不動産事業の減収増益要因

- ①施設のフル稼働で付帯収入増加も一部施設の賃料改定により減収
- ②作業費、減価償却費、光熱動力費等の費用減により増益

㊦ 澁澤倉庫株式会社

4

I-2. 事業セグメント別営業収益

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	
			金額	比率
物流事業	26,024	26,368	343	1.3%
倉庫業務	5,345	6,291	946	17.7%
港湾運送業務	2,766	2,746	▲20	▲0.7%
陸上運送業務	14,503	14,732	229	1.6%
国際輸送業務	1,805	1,622	▲183	▲10.1%
その他の物流業務	1,603	974	▲628	▲39.2%
不動産事業	2,940	2,861	▲79	▲2.7%
計	28,965	29,229	264	0.9%
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	▲41	▲43	▲2	—
連結営業収益	28,923	29,186	262	0.9%

I-2. 物流事業の業務別営業収益増減要因

➤ 倉庫業務

新規拠点(厚木・茨木等)の本格的な稼働により飲料の取扱が増加、大型拠点(恵比須町・名古屋・港島等)で日用品、化粧品の取扱が増加し17.7%増収

➤ 港湾運送業務

輸出入貨物の荷捌業務は堅調も在来船の船内荷役が低調でほぼ前年並み

➤ 陸上運送業務

引越は低調ながら、飲料やエアコンなどの季節商品の取扱が堅調。日用品の輸配送が好調で1.6%増収

➤ 国際輸送業務

輸入航空貨物は好調だったものの、地震や円高の影響により海外現法を含め自動車部品の取扱が減少、海上フォワーディング業務低調で10.1%減収

➤ その他物流業務

新規の物流施設賃貸の開始があったものの、前期にあった施設賃貸の追加工事費の一括収受分(6.9億円)がなくなり39.2%減収

I-3. 事業セグメント別営業利益

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	
			金額	比率
物流事業	845	1,255	409	48.5%
不動産事業	1,355	1,388	33	2.5%
計	2,200	2,643	443	20.1%
調整額	▲811	▲827	▲15	—
連結営業利益	1,388	1,816	427	30.8%
営業利益率	4.8%	6.2%	1.4ポイント	—

I-4. 個別経営成績

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	
			金額	比率
営業収益	25,348	25,643	294	1.2%
営業利益	1,223	1,651	428	35.0%
営業外損益	▲1	30	31	—
経常利益	1,221	1,682	460	37.7%
特別損益	—	—	—	—
法人税等	432	525	93	—
四半期純利益	789	1,157	367	46.6%

I-5. 連結財政状態

(単位：百万円)

	前期末	当四半期末	前期末比
総資産	91,405	91,338	▲66
負債	51,758	51,190	▲568
純資産	39,646	40,148	501
(うち非支配株主持分)	(964)	(865)	(▲98)
自己資本比率	42.3%	43.0%	0.7ポイント
1株当たり純資産	508.80円	516.70円	7.90円

I-6. 連結貸借対照表①

(単位：百万円)

	前期末	当四半期末	前期末比
流動資産	21,613	21,108	▲505
現金及び預金	5,478	5,981	502
受取手形及び取引先未収金	10,284	10,976	691
有価証券	4,000	2,500	▲1,500
固定資産	69,771	70,215	443
有形固定資産	53,488	52,715	▲772
建物及び構築物(純額)	32,991	32,106	▲884
その他(純額)	1,713	1,824	111
無形固定資産	1,682	2,053	370
投資その他の資産	14,599	15,446	846
投資有価証券	12,599	13,441	841
繰延資産	20	15	▲4
資産合計	91,405	91,338	▲66

I-6. 連結貸借対照表②

(単位：百万円)

	前期末	当四半期末	前期末比
流動負債	18,674	13,361	▲5,313
短期借入金	11,370	5,533	▲5,836
固定負債	33,084	37,829	4,745
社債	7,000	7,000	—
長期借入金	17,834	22,609	4,775
長期預り金	4,635	4,598	▲36
負債合計	51,758	51,190	▲568
株主資本合計	35,626	36,548	921
利益剰余金	22,132	23,042	909
その他の包括利益累計額	3,055	2,734	▲321
その他有価証券評価差額金	3,464	3,626	162
非支配株主持分	964	865	▲98
純資産合計	39,646	40,148	501
負債純資産合計	91,405	91,338	▲66

※ 滋澤倉庫株式会社

11

I-7. 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比
営業活動によるCF	175	2,403	2,227
(内、減価償却費)	(1,299)	(1,284)	(▲15)
投資活動によるCF	▲2,920	▲1,668	1,252
財務活動によるCF	▲1,282	▲1,413	▲131
現金及び現金同等物の 四半期末残高	8,526	6,575	▲1,950

※ 滋澤倉庫株式会社

12

Ⅱ-1. 平成29年3月期の連結業績予想

(単位：百万円)

	前期実績	上半期 (1Q-2Q) 実績	下半期 (3Q-4Q) 予想	当期予想	前期比	
					金額	比率
営業収益	56,762	29,186	29,514	58,700	1,937	3.4%
営業利益	2,770	1,816	1,284	3,100	329	11.9%
経常利益	2,714	1,809	1,131	2,940	225	8.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,681	1,210	710	1,920	238	14.2%

Ⅱ-2. 事業セグメント別営業収益予想

(単位：百万円)

	前期実績	上半期 (1Q-2Q) 実績	下半期 (3Q-4Q) 予想	当期予想	前期比	
					金額	比率
物流事業	51,084	26,368	26,631	53,000	1,915	3.8%
倉庫業務	10,749	6,291	6,008	12,300	1,550	14.4%
港湾運送業務	5,532	2,746	3,063	5,810	277	5.0%
陸上運送業務	28,628	14,732	14,747	29,480	851	3.0%
国際輸送業務	3,631	1,622	1,867	3,490	▲141	▲3.9%
その他の物流業務	2,541	974	945	1,920	▲621	▲24.5%
不動産事業	5,759	2,861	2,838	5,700	▲59	▲1.0%
計	56,843	29,229	29,470	58,700	1,856	3.3%
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	▲80	▲43	43	—	(80)	—
連結営業収益	56,762	29,186	29,513	58,700	1,937	3.4%

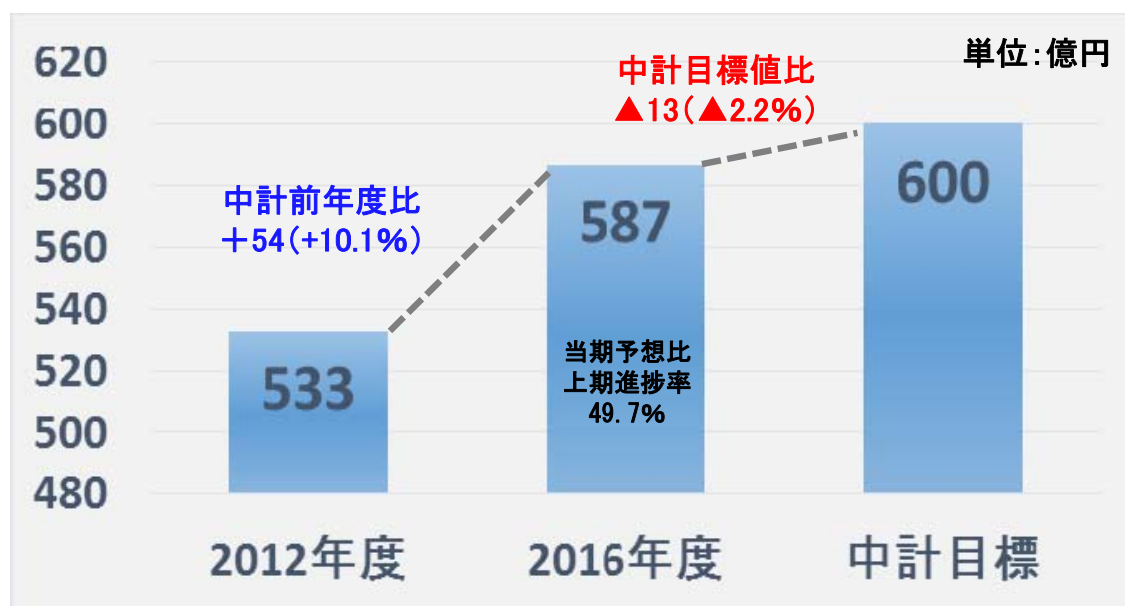
Ⅱ-3. 事業セグメント別営業利益予想

(単位：百万円)

	前期実績	上半期 (1Q・2Q) 実績	下半期 (3Q・4Q) 予想	当期予想	前期比	
					金額	比率
物流事業	1,698	1,255	944	2,200	501	29.6%
不動産事業	2,694	1,388	1,311	2,700	5	0.2%
計	4,392	2,643	2,256	4,900	507	11.5%
調整額	▲1,622	▲827	▲972	▲1,800	▲177	—
連結営業利益	2,770	1,816	1,283	3,100	329	11.9%
営業利益率	4.9%	6.2%	4.4%	5.3%	0.4ポイント	—

Ⅲ-1. 中期経営計画「Step Up 2016」のレビュー

中計前年度(2012年度)・中計目標との比較(連結営業収益)



Ⅲ-1. 中期経営計画「Step Up 2016」のレビュー

中計前年度(2012年度)との比較(業務別営業収益)

単位:億円

業務	2012年度	2016年度	増減額	増減率
倉庫業務	91.5	123.0	+31.5	+34.4%
港湾運送業務	53.7	58.1	+4.4	+8.2%
陸上運送業務	271.0	294.8	+23.8	+8.8%
国際輸送業務	36.2	34.9	▲1.3	▲3.6%
その他物流業務	14.1	19.2	+5.1	+36.2%
物流事業全体	466.5	530.0	+63.5	+13.6%
不動産事業	66.5	57.0	▲9.5	▲14.3%
全社合計	533.0	587.0	+54.0	+10.1%

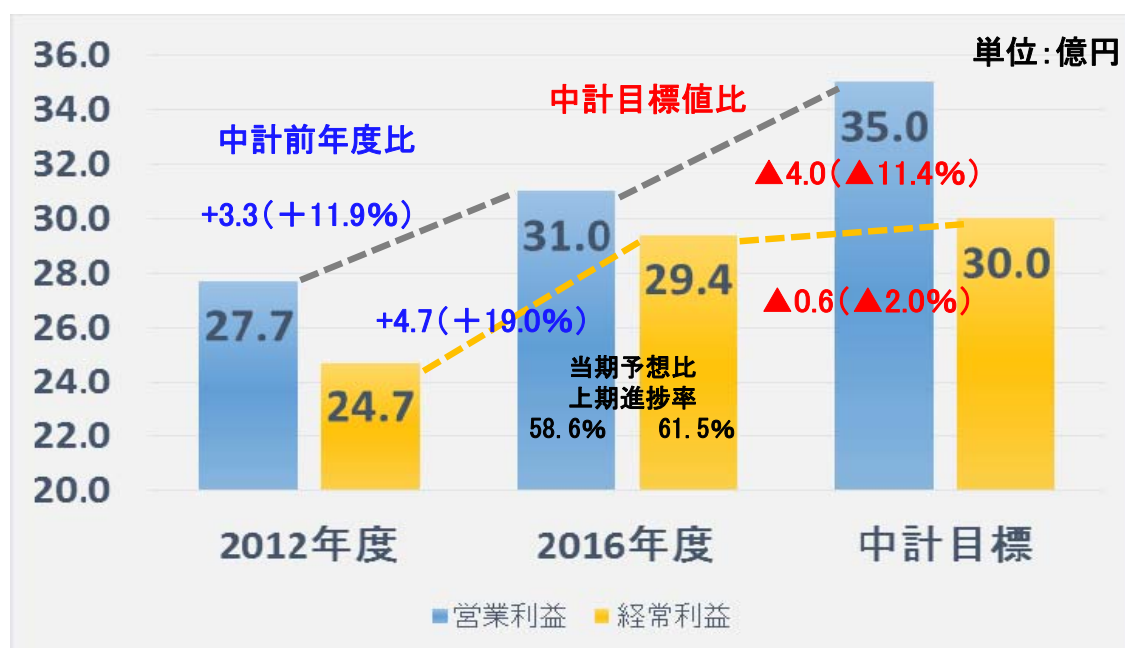
※2016年度は平成29年3月期の業績予想

❖ 滋澤倉庫株式会社

17

Ⅲ-1. 中期経営計画「Step Up 2016」のレビュー

中計前年度(2012年度)・中計目標との比較(連結営業・経常利益)



※2016年度は平成29年3月期の業績予想

❖ 滋澤倉庫株式会社

18

Ⅲ-1. 中期経営計画「Step Up 2016」のレビュー

<外部要因>

- ✓ 主力の消費財(飲料・日用品)の荷動きは堅調に推移
- ✓ ドル円は2012年比3割強円安、燃油単価は同3割減
- ✓ 金利水準の低下による資金調達コスト低減

<内部要因>

- ✓ 国内物流事業は、大型倉庫3棟建設、保管・輸配送拡大
- ✓ 海外物流事業は、現地国内物流拡大への足固めが進捗
- ✓ 不動産事業は、一部の施設を売却もフル稼働継続

Ⅲ-2. 次期中期経営計画（2017年度～）の考え方

基本的な考え方は現中計を踏襲、当社の強みを活かした国内物流事業の拡大と海外物流事業の飛躍、業務の効率化、健全な財務体質により、持続的な成長を目指す

- ✓ 当社得意分野(消費財)は物流センターの拡充も視野に更なる拡大
- ✓ 高付加価値サービス(流通加工・物流周辺業務)の更なる拡大
- ✓ Eコマースなど新しいビジネスモデルへの取組み
- ✓ 現地国内物流の本格的な展開による海外売上比率の引上げ
- ✓ 海外拠点の拡充 / フィリピン現法化による業域の拡大
- ✓ 不動産事業のフル稼働継続による安定的利益基盤確保
- ✓ 財務体質の強化に努め自己資本比率40%程度を維持
- ✓ 株主還元方針の「安定配当」・「配当性向30%」を維持

IV. 平成29年3月期第2四半期のトピックス

➤ ベトナムの物流会社「Vinafco」へ追加出資

平成26年11月： 同社の発行済株式35.1%を取得

平成28年9月 ： 9.8%の株式を既存株主より取得

これにより、出資比率は44.9%へ

➤ 追加出資の目的、理由

- ・当初出資時の目標である「共同営業」の成果が表れている
- ・Vinafcoの業績が新倉庫の建設などで順調に拡大
- ・出資比率の引上げでより深く経営に関与(取締役1名増予定)
- ・更に連携を強化し、シナジー効果を極大化



 澁澤倉庫株式会社



21

V. 当期の設備投資の状況（資金ベース）

(単位：百万円)

	当第2四半期 実績	当期見込
不動産設備改修工事他	214	284
物流等設備改修工事他	60	430
荷役設備機器等購入他	28	46
物流システム他開発改修等	255	830
連結子会社車両購入等	178	460
合 計	735	2,050

VI. 配当の状況

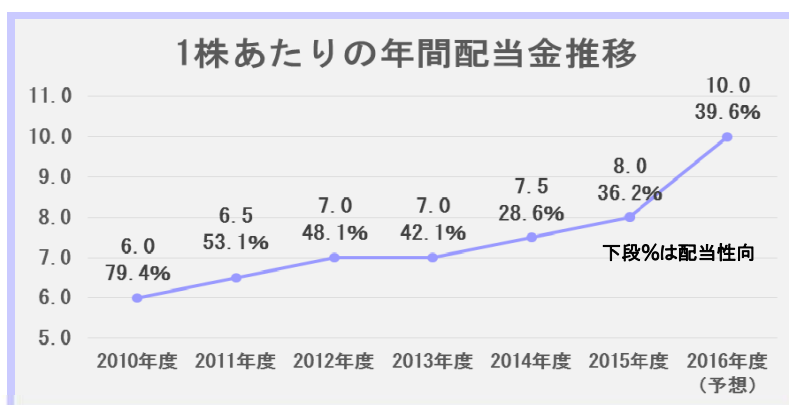
(単位：円)

		中間配当	期末配当	年間配当	配当性向 (連結)
平成28年3月期	実績	4.00	4.00	8.00	36.2%
平成29年3月期	予定	4.00			
	予想		6.00	10.00	39.6%

➤ 株主還元方針

◆ 安定配当

- ◆ 配当性向は特殊要因を除く親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目安



- 平成29年3月期の配当は創業120周年記念配当(2円)含む(予想)

❖ 澁澤倉庫株式会社

23

本日は当社の決算説明会にご出席を賜り、誠にありがとうございました。

今後とも投資家様との対話を深め、企業価値の向上につとめてまいりますので、よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢、経営環境の変化等により異なる可能性があります。

IRに関するお問合せ先： 担当： 総合企画部 池田 覚
電話： (03)5646-7263
E-Mail： ikeda-satoru@shibusawa.co.jp

❖ 澁澤倉庫株式会社

24

平成29年（2017年）3月期 第2四半期決算説明会

補 足 資 料

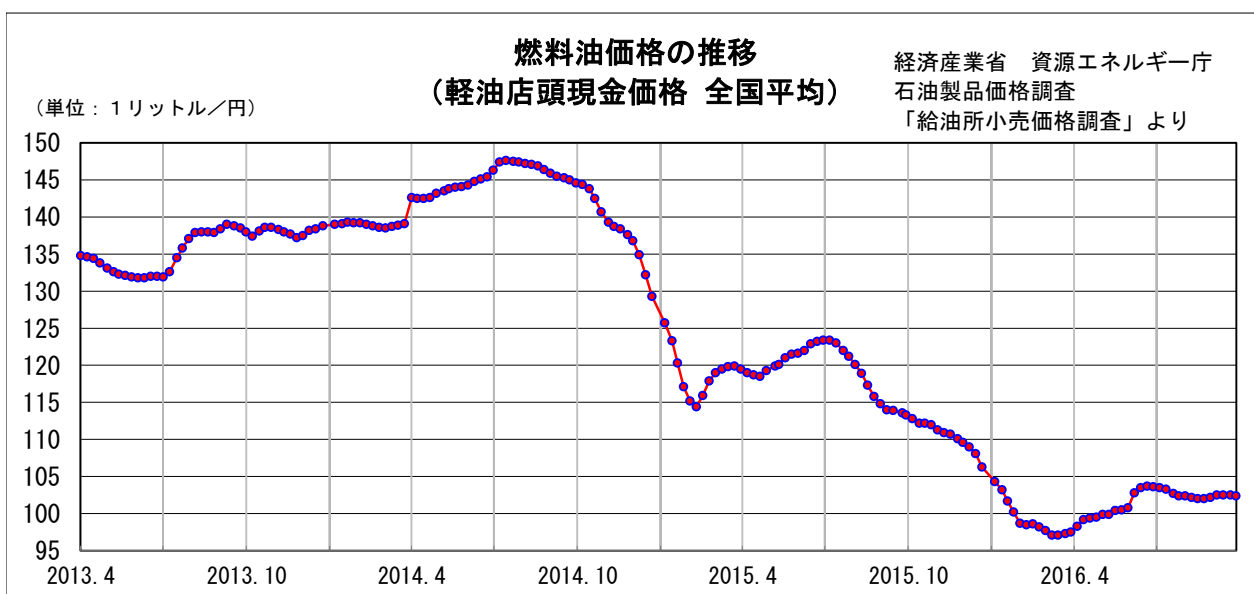
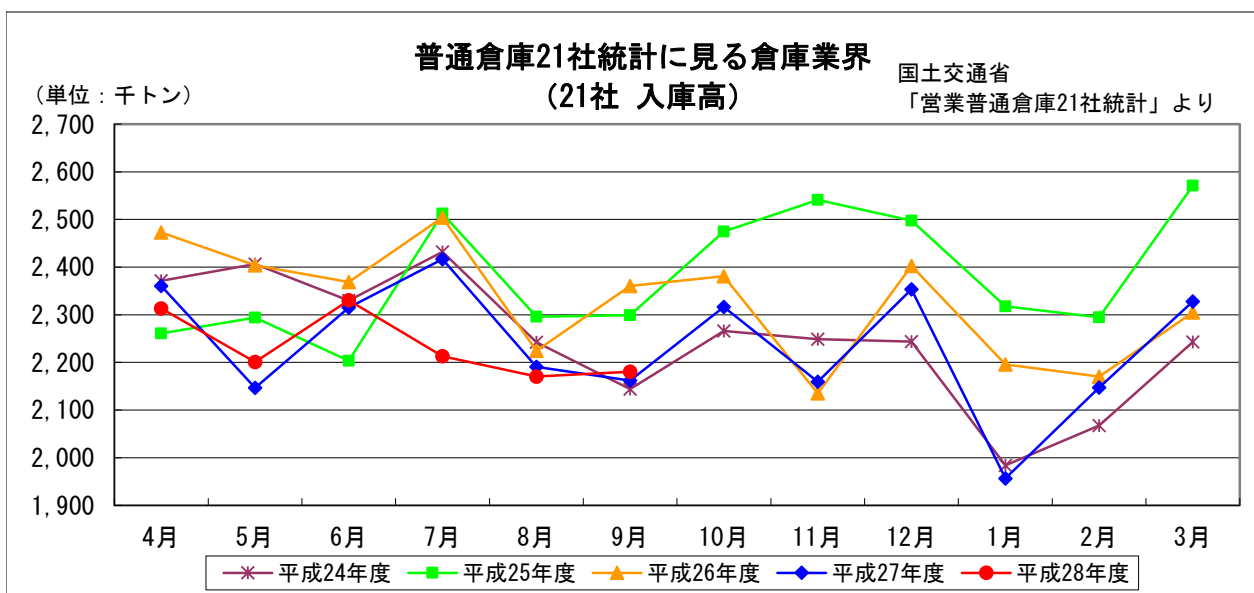
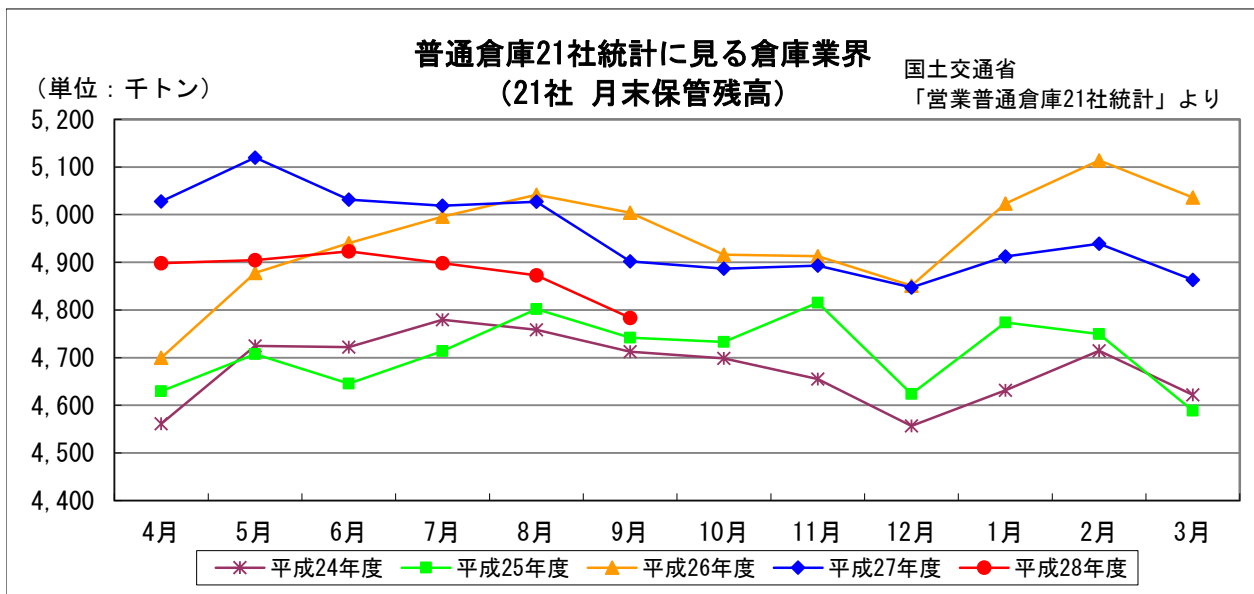
（業界の状況）

- ① 普通倉庫21社統計に見る倉庫業界（21社 月末保管残高）
- ② 普通倉庫21社統計に見る倉庫業界（21社 入庫高）
- ③ 燃料油価格の推移（軽油店頭現金価格 全国平均）
- ④ 東京と大阪・名古屋のビジネス地区の平均空室率の比較
- ⑤ 東京ビジネス地区 平均賃料（坪当たり）の変化

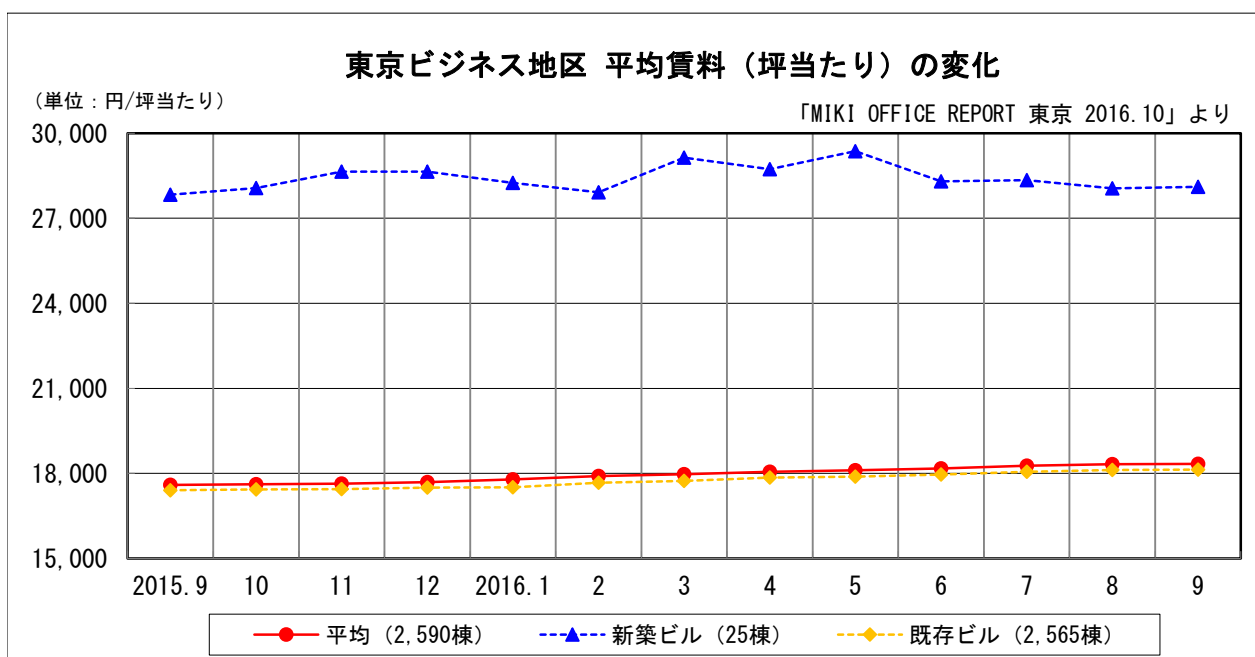
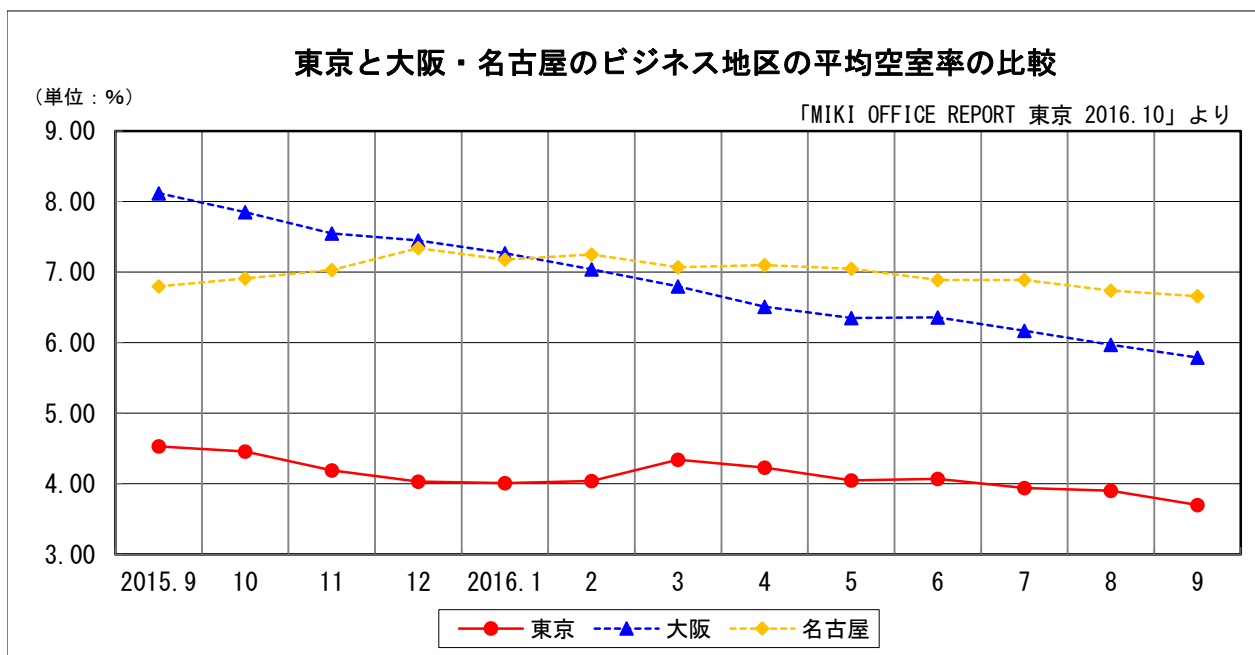
（当社グループの状況）

- ⑥ 入庫高・出庫高合計 推移表
- ⑦ 保管残高合計 推移表
- ⑧ 港湾運送取扱量 推移表
- ⑨ 輸出入海貨取扱量 推移表
- ⑩ 航空貨物 輸出屯数 推移表
- ⑪ 航空貨物 輸入件数 推移表
- ⑫ 事業セグメント別 営業収益推移表
- ⑬ 事業セグメント別 構成比
- ⑭ 物流事業セグメント別 営業収益推移表

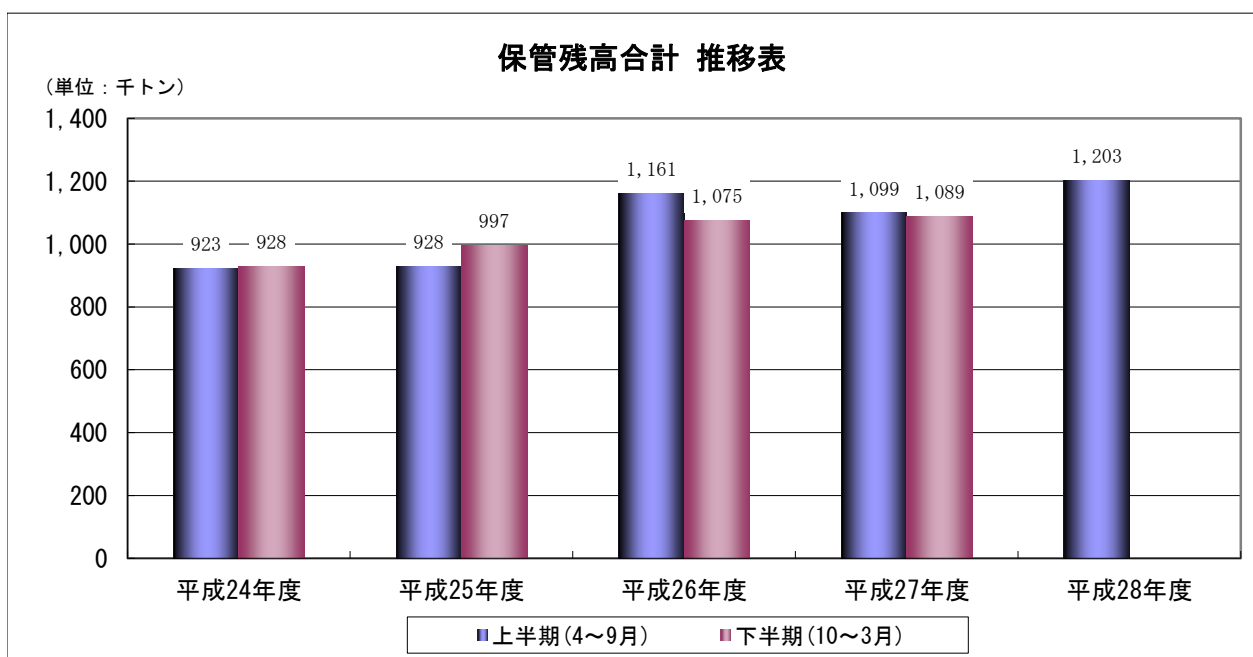
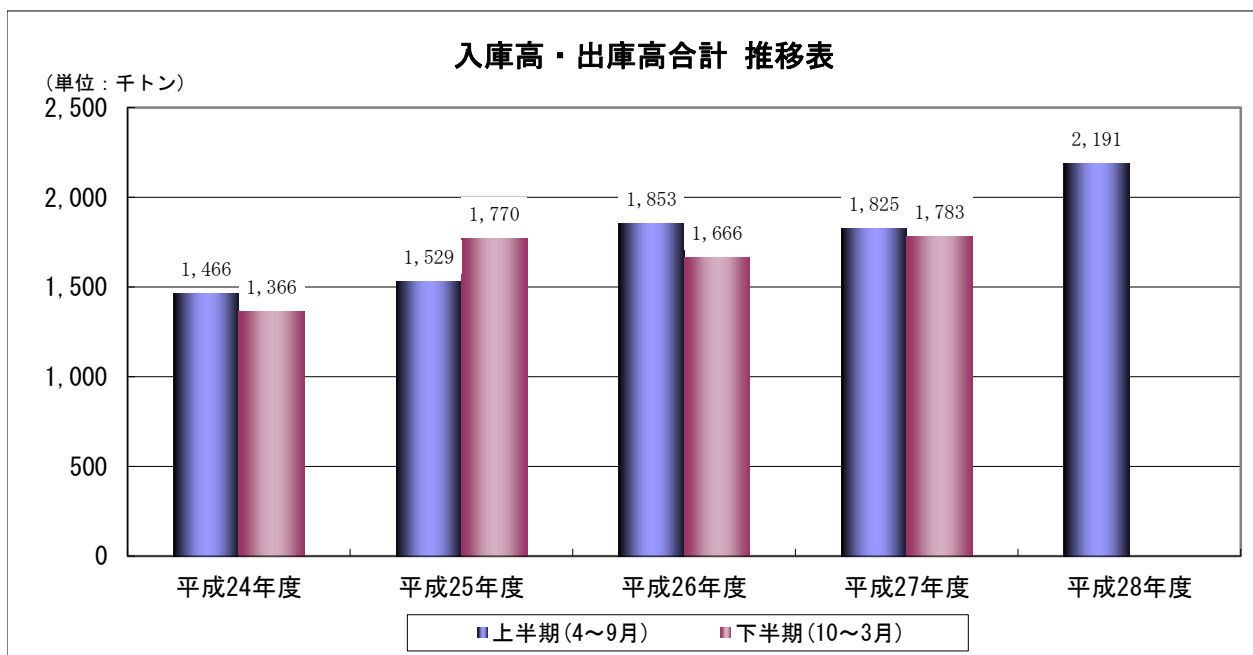
平成29年（2017年）3月期 第2四半期決算説明会 補足資料



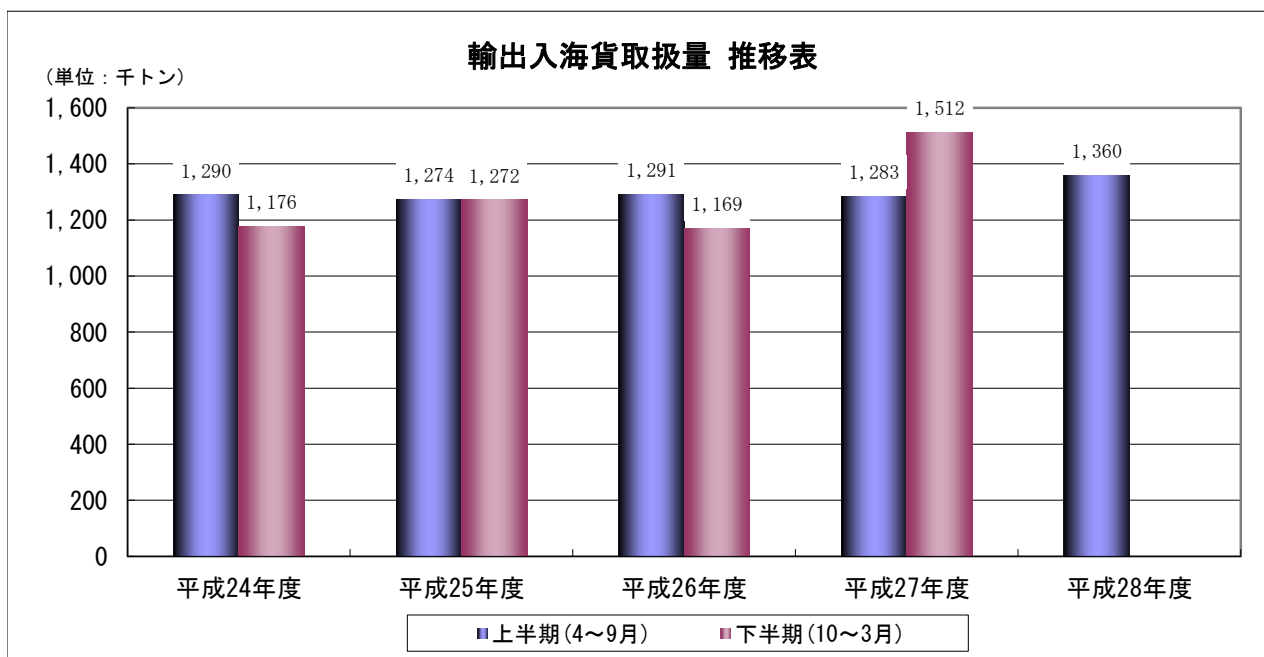
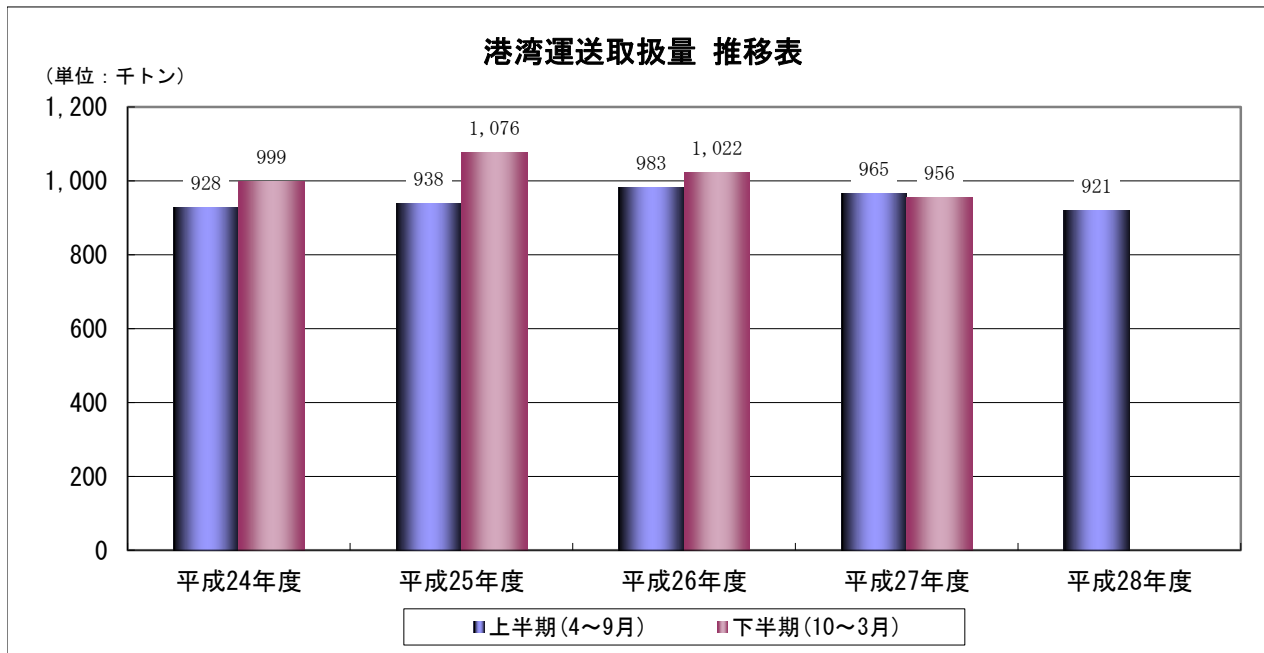
平成29年（2017年）3月期 第2四半期決算説明会 補足資料



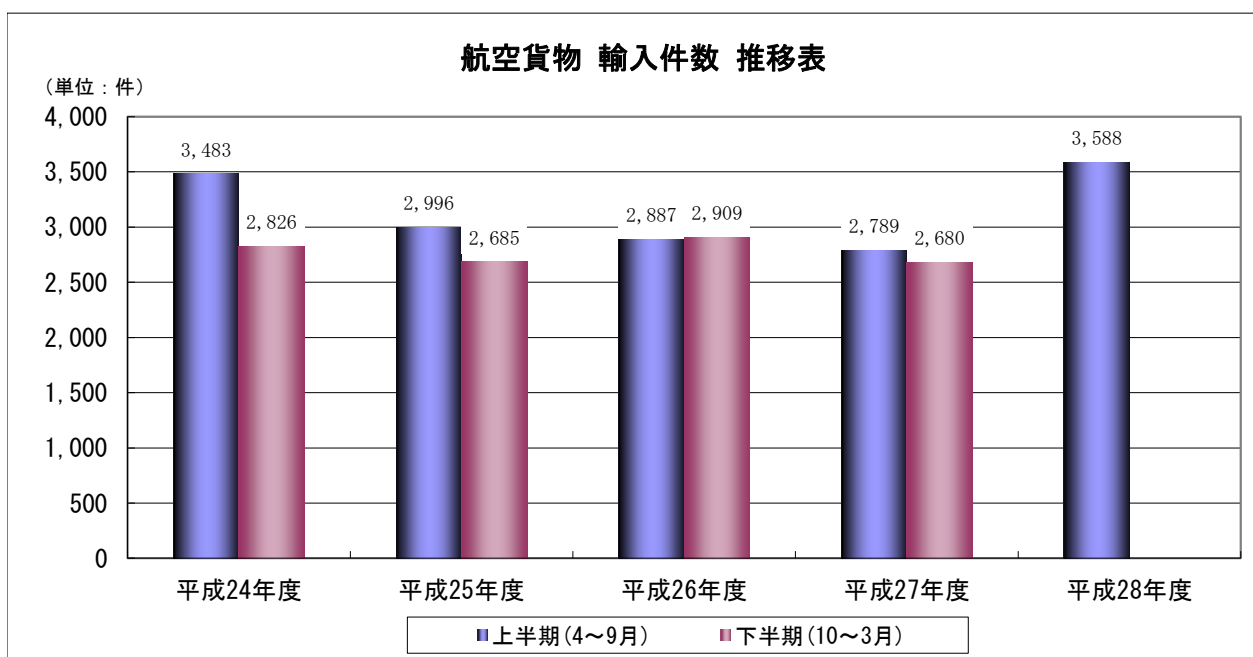
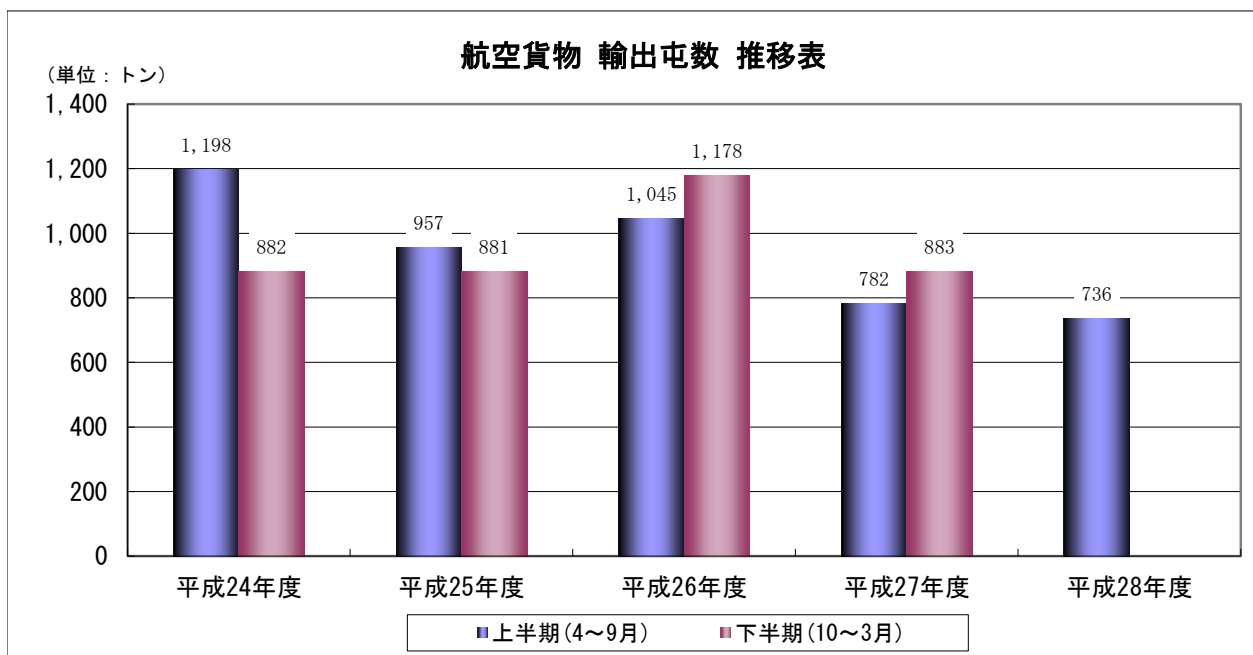
平成29年（2017年）3月期 第2四半期決算説明会 補足資料



平成29年（2017年）3月期 第2四半期決算説明会 補足資料



平成29年（2017年）3月期 第2四半期決算説明会 補足資料

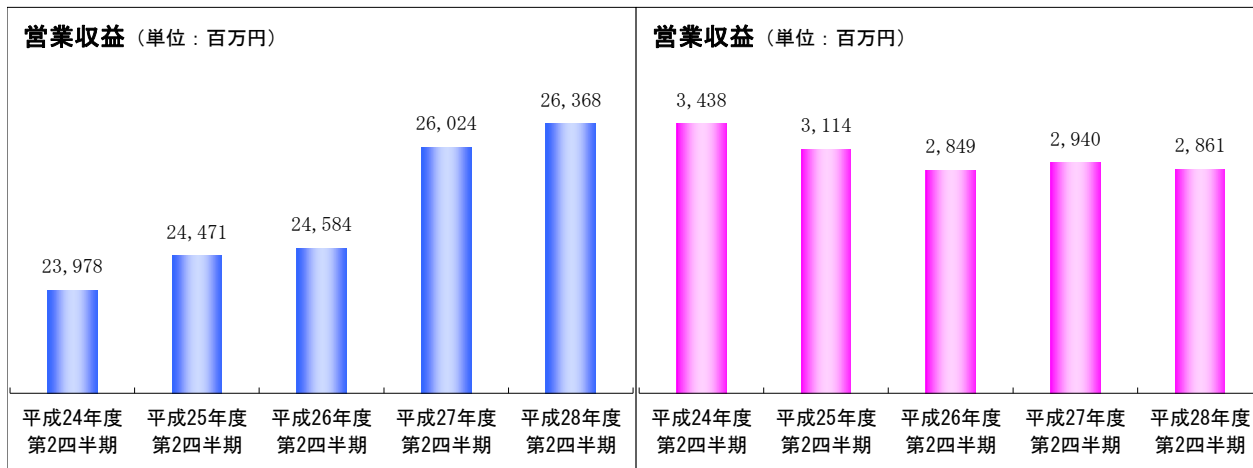


平成29年（2017年）3月期 第2四半期決算説明会 補足資料

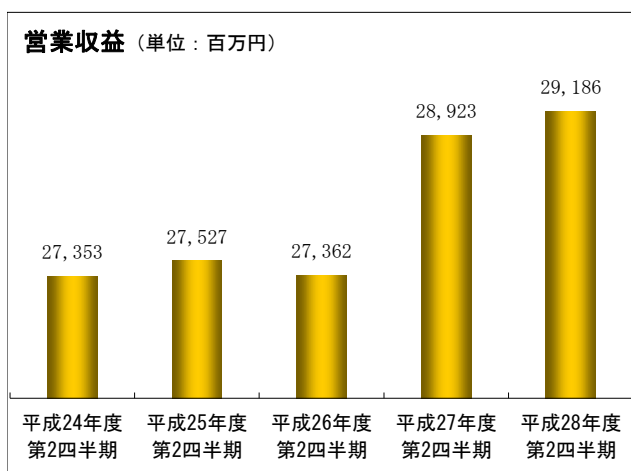
【事業セグメント別 営業収益推移表】

物流事業

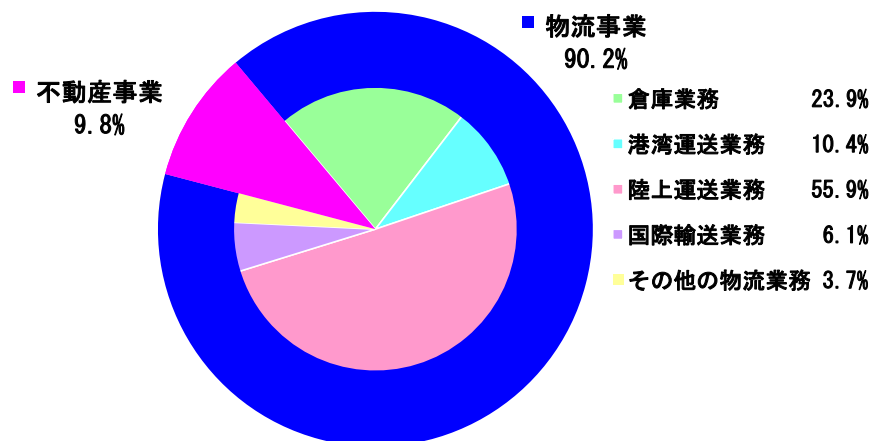
不動産事業



合計



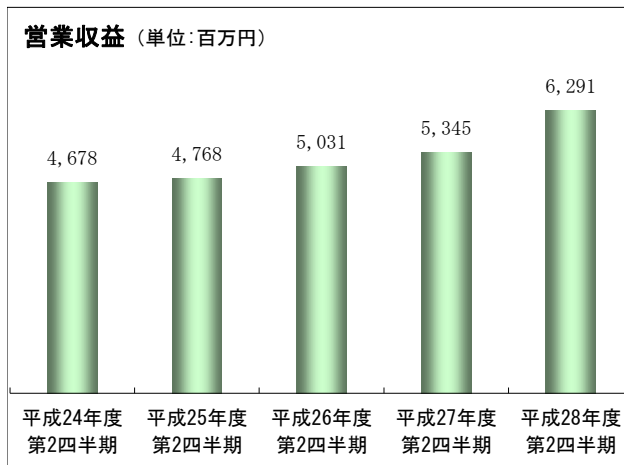
【事業セグメント別構成比】



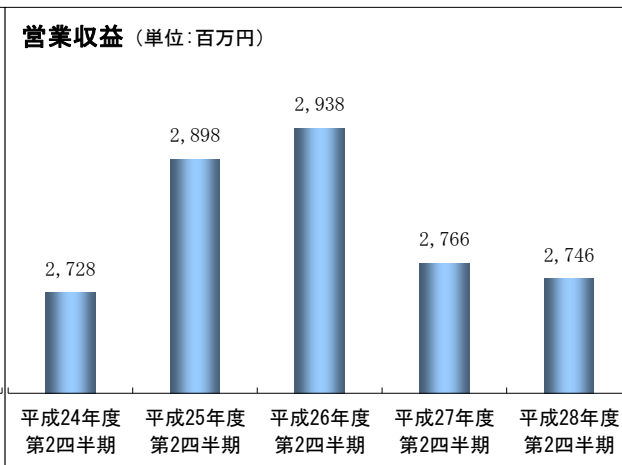
平成29年（2017年）3月期 第2四半期決算説明会 補足資料

【物流事業セグメント別 営業収益推移表】

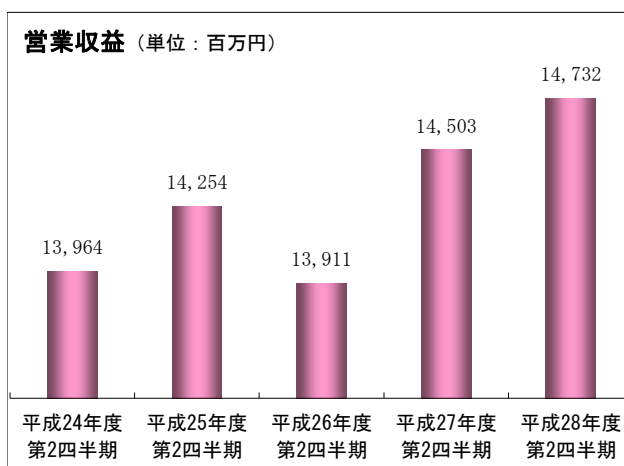
倉庫業務



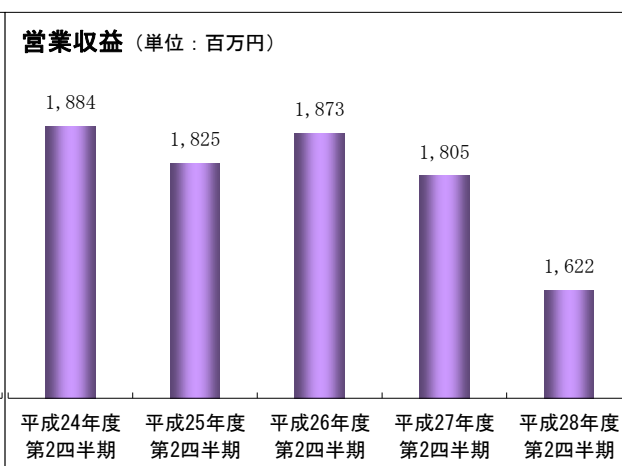
港湾運送業務



陸上運送業務



国際輸送業務



その他の物流業務

